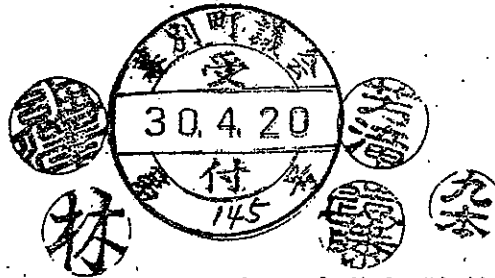


平成30年4月20日

幕別町議会

議長 芳滝 仁 様



株式会社忠類振興公社経営方針に関する十分な説明を求める陳情書

平素より町政にご尽力されております事に衷心より厚くお礼申し上げます。

記

忠類ナウマン温泉ホテルアルコ236は、平成6年8月忠類村時代に鉄筋コンクリート造で建築された温泉宿泊施設であり、平成15年のリニューアルで和室14室、洋室2室、和洋室1室、計17室となりました。その後、平成18年2月6日に忠類村と幕別町が町村合併した事をご承知のことと存じます。

合併後も株式会社忠類振興公社が運営してきましたが、平成23年から赤字経営が平成28年まで6期連続で、初めて負債額が資産を上回る債務超過に陥った（負債額は6,070千円）。しかし、町民税を活用しておきながら一度も報告がなく、北海道新聞、十勝毎日新聞で解り、議会報告会で町民有志が質問して初めて確認できた事であり、町民は議会、行政に対し不信感を持った事をご承知のとおりであります。

従いまして、町は29年度以降の経営方針は、ホテル業に精通した会社と連携してやる事が望ましい結論を出し、町議会もこの方針について数回に渡り検討した結果、指定管理料を増額し、年間30,000千円とし、33年度まで5カ年契約で148,000千円(税抜)で29年4月1日から契約したが、4ヶ月後の29年8月頃より、①ボイラー老朽化により全面取替え要望に53,950千円 ②機能向上対策に17,050千円もあり合計78,024千円も要望してきました。ボイラーの全面取替えは防災上の観点から了解したが、②については契約期間があと4年位であり、今すぐやる必要がないことと、ホテル全体が今時のスタイルに合わず、かつ老朽化が進み、33年度以降はどの様にするか種々検討する所であったにも拘わらず、町は今後、過疎債を投資して10カ年計画で改修整備する方針を町議会の特定会派に話したようですが、なぜこれを全会派に話しなかったのか、町議会と町長は常に一定の緊張感が無いことを露呈している。その責任は重大である。

この案件は、当初の方針を大幅に変更する様でありましたので、4月10日役場に出向き、町長・副町長に確認したところ、やはり今後10カ年計画で改修整備していくようですが、町政の方針を推進するには、町民の生の声を一度も聴かずに、一方的に執行方針を固めることに町民は大きな疑念を抱いています。

町議会においては、株式会社忠類振興公社並びにアルコ236の今後の経営方針に関し、町民に対し十分な説明を行うよう町に求め、町民の疑念を晴らしていただきますよう改めて陳情いたします。

幕別町のまちづくりを考える有志の会

会長

小山 繁 様

事務局 幕別町札内文京町33番地41

電話・FAX 0155-56-3310

